

2. 事業の概要と成果	
<p>(1) プロジェクト目標の達成度 (今期事業達成目標)</p>	<p>今期事業（第2年次）では、「コミュニティ職業技術訓練センター（以下、CTTC）にてガザ地区3県の脆弱な立場にある若者が、収入に結び付けることのできる職業技術訓練（研修）の機会を得ること」とのプロジェクト目標を、100%達成することができた。当初の計画通り、ガザ地区3県の若者600名に対して職業技術訓練の機会を提供し、544名が修了した。CTTC講師はじめ現地技術者12名が、日本人専門家による技術指導・助言により、最新の知識や技術を習得した。</p>
<p>(2) 事業内容</p>	<p>3年の事業期間のうち第2年次の事業は概ね計画通りに実行された。活動毎の成果は以下の通り。</p> <p>1. 研修実施準備 今期事業を開始するにあたり、各CTTCの賃貸契約や、公益市民団体（以下、CBO）との覚書を更新した。また、各学期開講前に、受講生に配布する文具類やCTTCで保管する研修の参考図書、専門コースで使用する資機材を調達した。</p> <p>2. 職業技術訓練（研修）コースの実施 職業技術訓練を2学期で計600名の受講生を対象に実施した。各学期は5ヶ月間とし、第1学期は2019年3月から7月、第2学期は2019年9月から2020年1月まで開催した。</p> <p>選抜された600名（男性435名、女性165名）は、専門コース、ビジネススキルコース、インターンシップのカリキュラムを受講した。</p> <p>専門コースは5コース（①太陽光発電システム管理コース、②家電製品修理コース、③携帯・スマートフォン管理コース、④コンピューター管理コース、⑤マルチメディアコース）で、各コース120名ずつが受講した。受講生は10名ずつのグループに分かれ、カリキュラムに沿って理論から実習までを100時間かけて学んだ。</p> <p>ビジネススキルコースでは、起業ノウハウ、eコマース、ビジネス・コミュニケーションについて合計90時間の研修を提供した。受講生は、20名ずつのグループに分かれて受講した。</p> <p>インターンシップでは、各受講生が地元企業にて110時間以上の実習訓練を受けた。インターンシップの受け入れ先については、CTTCの運営チームが地元企業を訪問し、手配した。</p> <p>全研修過程を完了したのは600名中575名で、25名は短期雇用プログラムへの参加や家庭の事情により継続を断念した。575名のうち544名がCTTCの修了基準を満たし、修了式にて修了証書を授与された。</p> <p>31名は試験結果や出席が基準に満たさなかったために、修了できなかった。継続を断念した25名も含め、修了しなかった訓練生56名は、来期に再度応募することは可能である。</p> <p>3. 日本人専門家による技術ワークショップ 太陽光発電システム管理の分野における専門家として、塩田昭夫氏</p>

を招聘する計画であったが、日本の外務省によるガザ地区の入域制限がかかり、PWJの主催では専門家がガザ地区に宿泊できず、9時から14時までしか研修が実施できないため、ガザにおけるPWJ主催の日本人専門家による技術ワークショップの開催は実施が困難な状況にあった。同専門家が2019年11月に国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）主催の太陽光発電システム管理研修の講師を務めることとなったため、その研修にCTTC講師2名を派遣し、その講師が他の技術者への研修を実施することとした。

UNRWAの研修参加者の選出は、事前に塩田専門家から出題されたテスト結果に基づいて行った。選出された2名は、座学と実技を交えた13日間の全研修日程に参加し、最終試験に合格した。

その後、2名の講師は、残りのCTTC講師1名とガザ地区の地元技術者9名に対して、10日間の研修を2020年1月に実施した。資料は、UNRWAでの研修と同じものを使用し、実技はCTTCの機材を活用して実施した。研修の最後には知識の習得を確認するための試験を実施し、10名中9名が合格した。

4. 次学期研修受講生の選抜

2019年7月から8月に第2学期の受講生を募集し、合計で1,236名（男性930名、女性306名）の応募を受け付けた。書類審査と面接による選考にて、300名の受講生を選定した。

第3年次第1学期の受講生募集は2020年2月に実施し、合計で1,160名（男性813名、女性347名）の応募を受け付けた。

5. その他活動

TVET週間

主催者である Local Employment & TVET Councilの決定により、技術教育・職業訓練（TVET）週間は事業期間中に実施されなかった。

アウトリーチ・ワークショップの実施

第2期生募集案内のためのアウトリーチ・ワークショップを2019年7月に12回開催し、合計で662名の参加があった。第3期生募集のためのアウトリーチ・ワークショップは、2020年1月下旬から2月初旬にかけて9回開催し、合計で486名が参加した。参加者は大学生、コミュニティメンバー、地元団体や地元企業の代表者等であった。このワークショップでは、CTTCが提供する職業技術訓練の目的や各コースの内容、応募要件等を説明した。また、CTTCの研修概要や地図を載せたパンフレットを参加者に配布した。

CTTC修了式

第1期の修了式は2019年9月25日に、第2期の修了式は2020年2月26日に開催した。式典には、修了生及びCTTC講師の参加に加え、インターンシップを提供した地元企業を招待した。全修了生は修了証書を授与された。

労働庁の職業訓練センターとしての認可申請開始

現地提携団体との協議の結果、認可申請については、事業終了後にCTTCを引き継ぐCBOが中心となって進めることとなった。第3年次に具体的な検討を進めていく。

	<p>6. モニタリング</p> <p>現地事業責任者が月に2回程度ガザに入域し、各CTTCを訪問して、研修の様子をモニタリングし、研修生や運営チームと面談して、研修の進捗状況や運営上の課題について確認した。</p> <p>現地提携団体は、受講生と講師の出勤簿を管理し、各コース終了後には、受講生と講師に対してアンケートやヒアリングを実施する等、研修を改善するためのモニタリングを継続的に行なった。また、各CTTCの受講者情報や資機材の状況等をまとめるデータベースを構築して管理した。</p>
<p>(3) 達成された成果</p>	<p><u>期待された成果の達成度</u></p> <p>当初の計画通り職業技術訓練を提供し、600名の受講生が専門コースに関する知識や技術を学ぶと共に実務経験を積み、最終的に544名がCTTCの修了基準を満たした。また、日本人専門家による太陽光発電システム管理研修により、CTTC講師や現地技術者が、太陽光発電システムに関する最新の知識や技術を習得した。</p> <p><u>成果を測る指標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 研修を受講した若者：600名（計画：600名） 2) CTTCの修了基準を満たした受講生：544名（計画：480名） 3) 技術ワークショップの修了試験に合格したワークショップ参加者：11名（計画：8名） <p>職業訓練の実施により「持続可能な開発目標（SDGs）」の、目標4.4「人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を増加させる」ことに貢献したとともに、失業率の高いガザ地区の中でもさらに失業率の高い青年層の雇用対策に取り組んだことで、目標8.6「就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合」の減少に貢献した。同時に、一定数の女性受益者を含めるよう配慮したことで、目標5「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う」の内、特に5.b「女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する」を実現した。具体的には、第2年次に受講した若者の28%が女性であり（600名中165名）、その大半がグラフィックデザイン・マルチメディア、コンピューター・ネットワーク管理、携帯電話メンテナンスなどICT分野の受講生であることから、本事業はこれら目標に貢献したと言える。</p>
<p>(4) 持続発展性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 恒常的に職業技術訓練（研修）を実施していくためのCTTCを設置し、第3年次の事業終了時にはCBOに引き継ぐ。CBOが継続的に運営していけるように、第3年次には運営ノウハウ等をCBOに伝えるワークショップを実施し、運営計画を策定する。 ● 研修内容に関する受講生や講師からのフィードバックをまとめ、第3年次のカリキュラムを見直し、研修教材のアップデートを行うことで、研修の質を向上させていく。またカリキュラム改善の方法も記録に残し、事業の引継ぎ後も同様の取り組みがなされるようにする。 ● CBOがCTTCを引き継いだ後に、職業訓練センターとしての認可申請ができるように準備を進めている。労働庁より職業訓練センターとしての認可を受けることで、CTTCの研修の質と信

	頼性が保証され、研修修了証が就職活動時、起業・小規模ビジネス開始時に広く認められるものとする。また、それにより、CTTCに対する一定の評価を担保でき、持続発展性に寄与する。
--	----------------------------------------------------------------------------------------